

国立大学法人神戸大学・国立大学法人兵庫教育大学入札監視委員会議事概要

1. 日 時 平成30年2月27日（火） 14:00～16:00

2. 場 所 国立大学法人神戸大学六甲台第2キャンパス自然科学系図書館4階会議室

3. 委 員 委員長 山崎 聡一（神戸市立工業高等専門学校長）
 委 員 東 誠一郎（公認会計士）
 委 員 森澤 武雄（弁護士）

4. 審議対象期間 平成29年1月1日～平成29年12月31日

5. 抽出審議事業 下記の表のとおり

抽出事業件数（合計）		1 2 件	
建設工事	一般競争	総合評価落札方式（標準型）	
		総合評価落札方式（簡易型）	
		総合評価落札方式（簡易型拡大）	
		総合評価落札方式（実績評価型）	神戸大学 6 件
			兵庫教育大学 3 件
	最低価格落札方式		
	工事希望型競争入札		
	随意契約		神戸大学 1 件
小 計		1 0 件	
設計・コンサルティング業務	プロポーザル方式	公募型プロポーザル	
		簡易公募型プロポーザル	
		簡易公募型プロポーザル(拡大)	神戸大学 1 件
		標準型プロポーザル	
	一般競争	最低価格落札方式	神戸大学 1 件
	随意契約		
	小 計		2 件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		
備 考	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立てはなし。		

別紙

事項	意見・質問	回答
審議事項 1. 入札・契約手続きの運用状況等について 競争参加資格の地理的条件をより明確化すること、エレベーター工事の入札・契約手続の改正について報告するとともに、入札・契約手続の運用状況等について説明 2. 運営内規第6条第2項に基づく抽出事業にかかる審議について (1) 建設工事の抽出事業にかかる審議について 以下、神戸大学の審議事業 ① (楠) 基幹・環境整備(受変電設備更新等) 工事 ② (鶴甲2) 総合研究棟(国際人間科学系) 改修電気設備工事	・神戸大学において平成29年の入札件数が増えた理由は何かあるのか。 ・総合評価落札方式において、施工体制確認型を選択するのは「予定価格が原則2億円以上の場合」とあるが、例外もあるのか。 ・施工体制確認型の場合、追加資料の作成は業者にとって大きな負担となっていないか。 ・重点調査の対象となった場合に辞退するケースが多いのはなぜか。 ・入札不落となったあとに不落随契の対象となるのは、入札時に残っていた業者だけなのか、全員できるのか。	・平成29年度より外壁・防水改修に係る予算を学内で確保できたため発注工事件数が増えた。 (神戸大学) ・基本的には予定価格が2億円以上の場合は施工体制確認型を実施している。 (神戸大学) ・要求する資料の作成は、短期間ではかなりの負担となる作業と思われるが、大規模工事の施工体制を確認する上において必要なものである。 (神戸大学) ・参加業者も施工体制確認型の評価方法については理解されており、重点調査となった場合、辞退を選ぶことが多いと思われる。 (神戸大学) ・入札時に残っていた業者のみである。 (神戸大学)

事項	意見・質問	回答
以下、兵庫教育大学の審議事業		
③（嬉野台）大学本部・事務局 屋上防水改修工事	・競争参加資格確認申請書を提出した業者の内、1 者が資格を有しなかった理由は何か。 ・大企業に比して中小企業等では競争参加に必要な資格を有している技術者数が少ないと思われるが、何か対応をしているか。	・当該業者の競争参加資格申請内容において、配置予定技術者の資格が本工事で必要な資格を有していなかったため。 （兵庫教育大学） ・文部科学省の通知等に則り、一定要件を満たす場合に他工事との兼務を認める等の対応をしている。 （兵庫教育大学）
④（嬉野台）基幹・環境整備 （ガス整備）工事（Ⅱ期）	・1 位の業者が辞退した理由は何か。	・1 位の業者が最低基準価格を下回り低入札価格調査を開始したところ、当該業者より入札価格の積算に過失があったことを理由に辞退の申し出があったため。 （兵庫教育大学）
（２）設計・コンサルティング業務の抽出事業にかかる審議について		
以下、神戸大学の審議事業		
①（六甲台 2 他）文学部本館等 外壁調査業務	・工事の場合と比較すると、予定価格に対して最低基準価格が低いのはなぜか。	・工事と異なった最低基準価格の算定となっているためである。 （神戸大学）
②（深江）総合研究棟（海洋底 探査センター）改修建築設計業務	・契約方式の「簡易公募型プロポーザル（拡大）」の拡大とは何を意味しているのか。 ・本件は簡易公募型プロポーザル（拡大）方式をとっているが、審議対象事業①との違いは何か。	・「簡易公募型プロポーザル」の対象基準額未満にも範囲を拡大して行うプロポーザル方式である。 （神戸大学） ・技術的な審査を必要とすることから簡易公募型プロポーザル方式をとっている。 （神戸大学）
3. 運営内規第 6 条第 3 項(1)～(7)に基づく抽出事業にかかる審議について		
以下、神戸大学の審議事業		
①（鶴甲 1 他）屋内運動場非構造部材耐震改修工事	・予定価格と落札価格が大きく乖離しているが理由は何か。	・仮設工事の内部足場の積算において予定価格と大きな乖離があった。 （神戸大学）

事項	意見・質問	回答
②（楠）福利課外施設1階食堂 空気調和設備更新工事 ③（深江）5号館受変電設備改修工事 ④（六甲台2）自然科学総合研究棟1号館等エレベーター改修 その他工事 ⑤（六甲台2）基幹・環境整備 （バリアフリー対策）工事	・ 工事中の足場の安全性については確認しているのか。	・ 仮設足場設置については、事前に計画書を提出させ、現場においても作業状況を確認している。 （神戸大学）
	・ 落札業者以外にも同様の足場での施工を想定した応札業者はいたのか。	・ 落札業者以外にも2者が同様の仮設足場での積算を行っていた。 （神戸大学）
	・ 空調機の故障は食堂の営業が出来ないほどのものだったのか。	・ 空調機のコンプレッサー部分が全く動かない状態であり、気温も高い時期であることから、衛生面や利用者の利便性を確保するため早急な対応が必要であった。 （神戸大学）
	・ 落札業者の見積もりでは共通費がかなり安価となっているが、他の応札業者も同様だったのか。	・ 全ての業者において共通費が安価なわけではない。 （神戸大学）
	・ 直接工事費についても予定価格との乖離があるが問題なかったのか。	・ 本工事の場合、直接工事費に占める機器の割合が高いことから予定価格と乖離が生じたものと考えられる。 （神戸大学）
	・ 1者応札の場合、入札に参加しなかった専門業者へアンケートを行ったとあるが、その回答はどのようなものだったのか。	・ 既存建物内への設置工事のため、昇降路の内法寸法不足のため設置が困難であると判断をしたとの回答があった。 （神戸大学）
	・ 内法寸法による制約があるなら、元々の昇降機を設置した業者しか対応できなかったのではないか。	・ 今回の落札業者以外は対応できないということではない。 （神戸大学）
	・ 入札可能と想定された業者は何者程度いたのか。	・ 3者程度を想定していた。 （神戸大学）
	・ 1者応札になった理由は何か。	・ 3者が競争参加を申請していたが、審査中に1者が辞退し、さらに1者の応札がなかったことから、結果1者入札となった。 （神戸大学）

事項	意見・質問	回答
以下、兵庫教育大学の審議事業 ⑥（山国）附属幼稚園管理棟便所改修その他工事 4. 運営内規第6条第3項(8)に基づく抽出事業にかかる審議について 対象なし	・建築工事にエレベーター工事を包含しなかったのはなぜか。 ・競争参加資格を有している4者の業者の内、3者が入札を辞退した理由は何か。	・建築工事が小規模であったことに加え、審議対象④の自然科学総合研究棟1号館のエレベーター改修工事に包含し契約することとしたため。 (神戸大学) ・辞退した各社にヒアリングをしたところ、本工事の競争参加資格申請してから入札を実施するまでの期間に、他工事を受注したことにより配置予定技術者を本工事に配置できなくなったためとの回答を得ている。 (兵庫教育大学)